

札幌で生まれた中村さんは、医療機関で働く祖母の姿を見て育ちました。幼い頃からたくさんの人の健康を支える医療職に興味を持ったのも、尊敬する祖母の影響が大きかったといいます。数ある医療の仕事の中で、病気の予防にもつながる体の検査をする仕事を選んだのは、高校生の頃。臨床検査技師を目指して大学に進学します。そして、幼稚園の遠足で来た栗山公園や、家族とお祭を楽しんだ思い出がある栗山町の病院を就職先に決めました。

「今までは、自分のための学びが中心でしたが、これからは多くの方の健康に関わる仕事をするので、早く仕事を覚え、仕事に責任を持って、周囲から信頼されるよう努力していきたいです」と、中村さん。心電図検査や心臓の超音波検査、採血なども担当します。「初めて受ける検査で、不安に思う方もいると思います。安心して検査を受けてもらえるように、笑顔での対応を心掛けたいです。真新しい病院で働くことができ幸せですし、親しみのある栗山町に住むことをうれしく感じています。きびだんごも大好きです!」と笑顔で話してくれました。



栗山赤十字病院 臨床検査技師

中村 はな 羽菜さん



健康を支えられる人に

消防士という職業を意識したのは、友人から「私は消防士になりたい」という将来の夢を聞き、その志が心に残ったことがきっかけでした。それまでの自分にはなかった選択肢でしたが、興味を持って調べていくうちに、たくさんの人の命や日々の生活を支える仕事の重要性に惹かれ、この道に進む決意をしました。

消防2課に配属され、消防車の車両点検などの業務に励んでいます。「まだ慣れないことも多い毎日ですが、先輩方に優しく、時には厳しく指導していただきながら、昨日までできなかったことができるようになる瞬間に、大きな喜びとやりがいを感じています。先輩方とコミュニケーションを取りながら、チームの一員として働く時間がとても楽しいです」と笑顔で話してくれた土田さん。

「分からないことは曖昧にせず、その場ですぐに確認すること。指示を待つだけでなく、今自分にできることを探して自ら動くこと。そして、何より元気な返事をする。これらを積み重ね、一刻も早く知識と技術を自分のものにして、周囲から信頼される消防士になりたいです」と決意を新たにしました。地域の安全と安心を担う、期待のルーキーの今後に注目です。



南空知消防組合消防署消防2課

土田 あかり 茜里さん



一歩ずつ、
信頼される消防士へ



特集

キラリ★輝く新春到来

栗山町で新社会人になる

希望の春が到来し、今年も栗山町内にフレッシュな新社会人の皆さんが加わりました。新しい環境に戸惑いながらも、夢を抱き、ひたむきに仕事に励む若者たち。今月号では、新たな一步を踏み出した皆さんの中から3人にスポットを当て、仕事や町への想い、これからの目標を語ってもらいました。一歩ずつ歩み始めた彼らへの温かい応援の気持ちとともに、ぜひご覧ください。

「父が建設関係の仕事をしていたこともあり、小さいころから重機などの働く車が好きでした」という三田村さん。生まれてから高校までを留萌市で過ごした三田村さんは、共立道路株式会社の求人票を見て、自分のやりたい仕事だと思い、職場見学で初めて栗山町を訪れました。見学では、若い社員が多いこと、案内してくれた社員さんがとても親切で、雰囲気の良い会社だと感じたそうです。そして、大好きな重機が並んでいるこの会社で働きたいと思ったそうです。

栗山町の印象は、「自然が多く落ちつける感じがする。まちの規模がちょうど良くて、住みやすそう」だそうです。「入社後、初めての作業で先輩に褒められたのがうれしかったです。重いものや、熱いものも多い現場ですが、先輩の話をよく聞いて安全に作業をするようにしています。挨拶をしっかりと、早く仕事を覚えるよう頑張ります」と、力強く話してくれました。将来の夢をたずねると「今とはとにかく、ここにある車を全て運転できるようになりたいです」と、幼い頃から憧れていた重機に乗るとい夢を、早く叶えたいと目を輝かせました。



共立道路株式会社 工事部

三田村 ふうま 楓真さん



子どものころからの
憧れの仕事に